

令和6年度上大久保中学校だより

上中だより

第1号

令和6年4月8日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 Tel.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>



Where dreams come true !

校長 たかく まさゆき 高久 正行

満開の桜に歓迎されたかのように、本校創立45周年目の節目でもある令和6年度が始まりました。新たに18名の教職員を迎え、教職員一同、上大久保中学校のよき伝統を踏まえつつ、生徒共に地域に愛される学校を目指して日々の教育活動に努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

生徒の皆さん、保護者の皆様、ご入学並びにご進級おめでとうございます。令和6年度は、新入生162名を迎え、2年生151名、3年生180名、教職員52名でのスタートとなります。上大久保中学校が、

“Where dreams come true (夢がかなうところ)”となることを切に願っています。

本校の学校教育目標は「温かい学校 感動あふれる学校」ですが、この目標のキーワードとなっている「温かい」と「感動」という言葉を改めて調べてみると、



- | | |
|-------|---|
| 「温かい」 | ○物が冷たくなく、また熱すぎもせず、程よい状態である。
○思いやりがある。いたわりの心がある。 |
| 「感動」 | ○強い感銘を受けて深く心を動かすこと。
○人の心を動かしてある感情を催させること。
○他からの刺激に反応すること。作用を受けて動くこと。また、動かすこと。 |

のような説明を見つけました。「温かい」には、「思いやり」や「いたわり」といった他の人の気持ちに配慮する、大事にするといった意味が込められています。また、「感動」には、何かをきっかけに心が動く状況になることを表しています。学校は、多くの人たちと出会い、その人たちと協力・団結しながら、様々なことを成し遂げていく場所です。ですから、多くの「温かい」気持ちをもってクラスメートや先輩・後輩たちと接する場面が数多くあると同時に、接していく中で多くの「感動」を感じる場面があると思います。一人ひとりに目を向けると、おのおのの目標に向かって、勉強や運動に精進を重ね自己研鑽に励むことはとても重要です。その過程の中で、多くの人たちとのかかわりをおして、「温かい心」に触れ、「感動」を感じていくことで、よりいっそうの成長を実感できるのではないかと思っています。

今回の学校だよりに掲げた“Where dreams come true”という言葉は初めて目をしたときから、ずっとこの言葉の意味を考えてきました。じっとしていても夢はかなうものではありません。何かしらの行動があつてこそ、夢の達成に向かって一歩ずつ近づいていくものだと思います。3学期の修了式でも触れましたが、中村天風(なかむらてんぷう)という人物の、「できないと思うものはできない。できると信念することは、どんなことでもできる。」という言葉にもつながるのではないのでしょうか。学校行事や委員会活動、部活動等、中学校では、生徒のみんなの協力性や団結力が欠かせない活動がたくさんあります。その度合いが深まれば深まるほど、新しい創造が生まれ、自分たちの期待以上の結果も導き出せる可能性を秘めています。生徒たちの可能性を信じ、もっている力を確実に伸長できるように、教職員一同がしっかりと支えていく所存でもあります。

「温かい学校 感動あふれる学校」の具現化と、生徒たちにとって“Where dreams come true (夢がかなうところ)”となる学校づくりに努めてまいります。保護者、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。